



ちょっとお出かけ い〜な旅
2016/07/27 (水)

平成 28 年度 第 3 回

夏の入笠
植物の宝庫を楽しもう！

い〜なガイドの会
プロジェクトメンバー
奥村 憲

参加者 24 名 (伊那市外 8 割) 。今回は入笠山 (1,955m) 山麓の「池の平湿原、入笠湿原、大阿原湿原の花めぐり」をテーマに出発した。

車内ではガイド 2 名高遠の歴史や湿原の説明をしながら、杖突街道を藤沢松倉に入り千代田湖で休憩。湖面に霧が流れ美しかった。

芝平峠を過ぎ林の中の池の平湿原に着いた。足元には淡紅色の小さな香りの良いイブキジャコウソウや紫色のウツボグサが咲き、小さな池の湖面に白樺の木が映えていた。再び曲がりくねった林道を進み、ガタガタとテクキサスゲートを通れば入笠牧場 (1,655m) 放牧牛の姿は見えなかったが、周辺のこんもりとしたコナシの木々と、乙女ヶ

原の広がった景色が素晴らしかった。大阿原湿原は 1,810m の高地に広がる湿原、まず針葉樹林の中冷気の遊歩道を歩き、テイ沢入り口付近で清流と自然林、石に付着したコケを眺め急に開けた湿地帯に出た。東京からの中学生達とあいさつを交わし爽やかな気持ちで歩いた。

この辺りはクリンソウ等がわずかに咲いていたが、大木に熊の爪痕、枯れた木が沢山目についた。駐車場近くの木陰で昼食後、御所平駐車場から入笠湿原 (1,730m) まで黄色いマルバダケブキ、サワギク等を見ながら遊歩道を歩いた。太陽が降り注ぎヤナギラン、コオニユリ、クサレダマ、ツリフネソウ、クガイソウ、チダケサシ、コバギボウシ等色とりどりの花々が咲き競っていた。

木道をゆっくり歩いて一回り、御所平峠の花畑モシシウド、オトコエシ、オオバセンキュウ、ウバユリ、ハクサンフウロなど様々な花がここも競い合うように咲いていた。ヨツバヒヨドリに止まるアサギマダラも見ることができた。

帰路は入笠を後にして杖突峠に向かい八ヶ岳山麓の眺望を楽しんだ。

入笠湿原周辺を管理される富士見町と豊かな自然を守り育てる「入笠花の里山ボランティア活動」に感謝し、伊那市にありながらなかなか行けない奥深い高山の夏、タイトルに偽りなし、さわやかなツアーの 1 日だった。